

講座名	【選択必修】 新たな法の中で現実の児童生徒を守り育てるために				
開講日	平成 29 年 8 月 3 日（予備日 8 月 5 日）				
時間数	6 時間		講座の形態	講義	
受講予定者数	30 名	学校種	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	主な受講対象 免許種、教科等	養護教諭
取り扱う事項	学校を巡る近年の状況の変化				
講座の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教室内外での子どもの行動などが理解できる ・集団での子どもの行動について分析・評価が出来る ・子どもの行動変容をせまる分析内容に従った、実践意欲を持つことができる 				
講座の概要	<p>教室での子どもの様子は、「体を動かすこと」を軽視する風潮や、体全体を使った遊びやスポーツに関わる時間、空間、仲間の確保が難しくなっている。このような社会的・物理的な環境変化は、子どもの身体症状や行動、関係づくりに顕在化してきている。講義Ⅰでは、時間、空間、仲間づくりから具体的ないじめ問題、講義Ⅱでは、発達障害等の特別支援教育、講義Ⅲでは、保健室での組織的連携、講義Ⅳでは、教育相談における工夫を取り上げる。</p>				
講座の計画	1 時限	講義Ⅰ：学校の組織集団といじめ問題			
	2 時限	講義Ⅱ：特別支援教育の今日的課題			
	3 時限	講義Ⅲ：教員の組織的連携と養護教諭			
	4 時限	講義Ⅳ：心理学を生かした対応			
		試験（30 分程度）			
修了確認の方法	筆記試験の評価による				
成績評価の視点	講義内容を自分の文章でまとめているか				
備考	1 時限は 90 分 テキストは使用しない。資料は適宜配布する。				
担当者	折出 健二（看護学部教授）、古井 景（愛知淑徳大学心理学部教授） 松原 紀子（看護学部講師）、宮田 延実（看護学部准教授）				